



幼児教育センター運動会

幼児教育センター運動会が
10月9日に開催されました。
晴天に恵まれ、元気な笑顔が
あふれていました。



CONTENTS

- 被災ゴミ撤去状況報告
- 一般質問
- 令和2年度決算特別委員会
- 各常任委員会Q&A
- 条例改正
- 移り行く季節を感じて/編集後記



町の木：モチノキ



町の花：スイセン

被災ゴミ撤去終わりました。ありがとうございました。

8月11日から8月19日まで降り続いた今回の豪雨は、一昨年前と同様、町に大きな被害をもたらしました。被災された町民の方々は、水に浸かった家電、家具、畳、寝具等の災害ゴミを鳴江河畔公園駐車場へ搬入する作業に追われることとなりました。

搬入の際は、災害ゴミの受け取り、運搬、整理等の作業を、消防団長はじめ、各部から派遣された消防団員の方々、役場職員の方々の協力を得て、無事終了することができました。

また、最終的な搬出作業については、町内外の各業者をお願いし短期間で撤去していただきました。

今回、被災された町民の皆様へのお見舞いと搬入・運搬等に参加していただきました皆様、本当にありがとうございました。書面にてお礼申し上げます。

西側（粗大ゴミ・家電）



西側（回収後）



東側（可燃物・不燃物）



東側（回収後）



江頭義彦
えがしらよしひこ

議員



『エキ・キタ』の開店に合わせ、 『駅南地区』の安全対策を

基盤整備課長 利用者の状況を見ながら検討したい

議員 現在、令和4年4月の開店を目標に進められているコンテナショップ「エキ・キタ」。町内の商店だけでなく町外からの出店もあり、集客が期待される。

また、現在、営業中の駅南口方面の商店や「みんなの公園」等への往来で人流が増え、南・北商店間での相乗効果も期待できると考える。そのような人流を想定した場合、駅を架け橋とした南北間の往来は、安全かつ清潔で、誰にでも優しい環境を第一に準備しておく必要がある。

①駅南口にトイレや手洗い場を設置してはどうか。②江北交番前の交差点の信号を音響式信号機に取り換えてはどうか。③駅から「みんなの公園」までの歩道を、段差を無くし、滑りにくい路面に

してはどうか。

基盤整備課長 段差、傾斜、勾配等が気になるところがあり、高齢者、子ども、障害者、車いす利用者にとつて使いやすい道路になるための重要な取り組みと認識している。今後、利用者の状況を見ながら事業化すべきかどうか検討したい。



特に薄暮は、恐怖感を覚える江北派出所前交差点

町独自の給付型奨学金制度を高校生に導入しては

町長 必要があれば制度を見直したい

議員 現在、町内の育英資金の貸付状況はどうなっているか。23年度から令和2年

度までの10年間の貸付状況は申請者が10名、決定者が7名、そのうち高校生については、平成27年度に2名の貸付けを行った。

議員 町の奨学金制度は、学費が増える高校生から、一人でも多くの生徒を支援してはどうか。また、卒業後に町内に住む場合は返還を免除しては。

こども教育課長 今回、育英資金の規則の一部を改正、見直しを行いながら、緊急応援募集を実施したい。見直しの一点目は、所得判定の対象を世帯全員の所得から、保護者の所得とし、二点目は、募集期間の変更である。

また、今回の緊急応援募集については、当分の間、臨時募集に変更し、随時募集を行うことにより、学生支援を行っていききたい。

町長 現在の貸付金の運営を弾力化して、常時募集と家計基準の見直しを行ってきたところである。また、全国的に珍しいと思うが江北町ではフリースクール等に通われる方の支援金というものを創設させていただいている。

まずは、今回の新型コロナ、また大雨という直面する危機に対し、学びを止めないということで緊急応援貸付を行うよう見直しをした。町民の皆さん方にも、家計の状況で学びを止めることだけは避ける必要があると思っている。そういう意味でも、いろいろなニーズ、また周辺の制度も含めて、教育委員会が必要があれば制度の見直しも行いたいと思っている。

総務常任委員会

問 過疎地域持続的発展計画に記載のある「岩屋トンネル撤去整備」については。

財政係長 前計画から旧岩屋住宅の下のトンネルを撤去し、旧岩屋住宅の土地の有効活用について協議をしていることから記載している。



旧岩屋住宅下のトンネル

問 安全安心の観点から河川の整備について、今後、必要になった場合、追加で過疎地域持続的発展計画に盛り込むことができるのか。

総務政策課長 過疎債を活用して事業をするということになれば、計画の変更はできる。

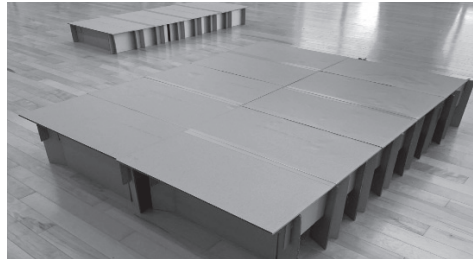
問 消防施設について建て替えの際は、利便性を考えて立地場所の検討を。

安全安心係長 更新時期が近いのは8部の格納庫。用地費を考えると現状の場所が候補地になる可能性が高いが、立地場所も含めて検討していきたい。

問 杵島工業用水道企業団関係は、過疎債の適用はできないか。

財政係長 杵島工業用水道企業団は負担金になるが、企業団の事業の考え方による。

問 避難所の段ボールベッドは使い捨てか。



ダンボールベッド



避難所設営の様子

安全安心係長 汚れがあり、また新型コロナウイルスの感染の関係もあり使い捨てとしている。

問 マットも使い捨てか。

安全安心係長 洗って干して使用している。避難者にできるだけ持参してもらつようお願いをしている。

問 災害対策費の委託料は、当初予算の3分の1程度、100万円を補正しているが、令和元年豪雨災害の実績を踏まえて当初予算の計上をしたのか。

安全安心係長 今回の台風と大雨対応で200万円程度が必要となり、今後のため補正予算を計上した。今後は実績を踏まえて当初予算を計上する。

問 予備費予算の現状は。

財政係長 以前は500万円だったが、本町の予算規模や災害が多いことから令和2年度より1,000万円に増額している。

問 抗原検査キットで陽性反応が出て、PCR検査を行った場合も補助の対象となるのか。

総務政策課長 簡易検査の結果陽性であれば、保健所にまず、相談いただく。本町の補助制度は、個人の判断でPCR検査を受ける方に対しての補助、保健所判断による検査は無料の為対象外になる。

問 災害ゴミの可燃ごみと粗大ごみの搬入先は。

入先は。

町民生活課主幹 たたみや布団は裁断する必要がある、佐賀市の清掃工場に搬入。可燃ごみ、粗大ごみ、不燃ごみは有田町へ搬入。



災害ゴミ集積場の様子

問 給食センターのA重油の使用料と燃料タンクに入る量は。

こども教育課長 年間2万2千〜2万3千ℓを使用。燃料タンクに入る量は、約1,800ℓ。

井上敏文
いのうえとしふみ
議員



駅南地区 宅地開発に伴う道路等の計画は

町長 宅地開発地区の道路幅員については、開発行為申請の段階で指導していく

議員 駅南地区で、今後宅地開発が見込まれる肥前山口駅東、JR長崎線南側区域の道路計画は、平成31年3月議会、令和2年9月議会で質問をしている。町長は「羽佐間水路北側の現況幅員3mの農道を町道に認定して8・5mで計画していたが、この道路は通学路であるため、安全を優先して4・5m道路で整備する。開発を誘導できるような道路については別途検討する」と答弁されている。この道路計画について、その後ど



駅南地区羽佐間水路北側の町道
(現道幅員4.5m)

のように検討されたのか。
町長 当該地区は、当初4・5m道路とは別に公共事業で道路整備をすることも検討したが、これにコストをかけて整備するのは現実的でないことから、宅地開発される前の開発行為申請の中で現道路の拡幅について調整を図っていく。

設置するのではなく、線路南側を一団地とみなし、小さな公園をまとめて整備しては。また、集中豪雨の冠水対策として調整池を兼ねた低床公園として活用すれば洪水対策にもなると思うが。
町長 公園については都市計画法を踏まえ、基盤整備計画の中では価値があると考えており検討中である。
議員 駅南の準都市計画区域内の、東分公民館東側の集落内に一部宅地開発が進んでいる。現在、造成中の住宅団地へのアクセス道路は狭く、このままでは支障をきたすと思われる。準都市計画内の全体的な道路計画を立てる必要があると思うが。
町長 準都市計画内においては一定の安全対策を取っていく必要があると考える。

大雨時の下水道汚水処理について

町長 大雨時の水洗便所使用不可に備え、事前に簡易トイレ等の配布も検討していく

議員 8月豪雨は2年前を上回る降水量であり、町南部地区は冠水した。これにより水洗便所の汚物の流れが悪くなり、水洗便所が使えないとの苦情が多く寄せられた。これは通常の汚水量に加え、雨水の浸入水が加わったため、処理施設が機能しなかったと思われるが、汚水の処理が不能となった時の復旧の対応は。また、水洗便所が使えない時は簡易型の非常用トイレもあるの、これを広報等で紹介してみたい。



大雨時に水洗便所が使用不能となった時の応急措置の例

坂井正隆
さかい まさたか

議員



再度問う 菖蒲谷溜池への土砂流入 についてその対策はいかに

町長 町としても最重要警戒地区の一つだと思っている。
全国で起きている事象、我が町に准えていく



菖蒲谷溜池付近（令和3年8月豪雨時）

その原因が最終処分場の盛土によるものとの報道を受け、本町にも最終処分場があることから直ちに県への状況確認を行い、県からは土砂流失防止のため、谷五ヶ所に土留めの設置をしたとの報告を受けた。

議員 令和元年の佐賀豪雨災害で菖蒲谷溜池への土砂流入があった。これを受け令和2年2月3日、県、町、地元関係者、小田土木で現地視察を行った。その後、県は2月5日に産廃業者、町担当者数名で現地立会を行った。立会後県は、産廃業者に対し、土砂が下流の溜池まで流出している。溜池は地元の農業用水と

して利用されており、不安を持たれているので水質検査も含めて改善策を講じてもらいたいとの指導をした。
産廃業者からは、溜池周辺に流出した土砂は早急に対応し、処分場から溜池までの管理道路の整備をする旨の説明があった。担当課長としてどう考えるか。

町民生活課長 7月熱海市で土石流が発生し、

議員 町内ではこの度、8月の雨により床上浸水、床下浸水による被害が発生。特に八町地区では床下浸水127戸、大西地区では、床上2戸、床下21戸被害が発生したと聞いている。町は

町長 色んな制度を活用し、情報提供をしていく必要がある

8月豪雨による 家屋の浸水対策は

町長 町としても最重要警戒地区の一つだと思っている。全国で起きている事象事件、事故、というものを他人事ではなく、いかに先に対応していくかが大事だと思う。県、事業者、地元の皆さんとしっかり連携を取って現地立会をさせて頂きたい。

住みやすい、安全、安心の町づくりの一環として、水害の常襲地帯と呼ばれないように、浸水家屋の嵩上等を是非お願いしたいが。



下小田地区冠水被害

接的な支援ということだけでなく、色んな制度を活用する中で、情報提供をしていく必要があり、江北町ハザードマップに基づき、浸水被害が予測される家屋を概算で試算予想ができると思っている。



八町地区冠水被害

三吉紀美子

議員



空き家問題について

基盤整備課長 今後も空き家の状況を通知し、適正な管理を求めていく

議員 江北町空き家等の適正管理に関する条例に基づく助言及び指導、勧告以降の措置に移行した物件はなかったと記憶している。

令和2年9月議会で、平成25年度以降、助言及び指導が44件、勧告が6件と回答された。措置を講じるように定められた期日の説明を。

条例第1条管理不全な状態になることを防止する事により、生活環境の保全と健康で安全な住民生活を確保するとの目的を達成する為には時間をかけずに進める案件であると思う。

基盤整備課長 6件に平成26年2月5日通告し、期日を同年2月28日とした。

勧告後4件は解体、適正管理がなされたが、2件については継続協議中で、今後も空

き家の状況を通知し、適正な管理を求めていく。

議員 条例11条へ移行する条件は、理由なく勧告に従わない時、空き家が著しく管理不全な状態と認める時の2点が示されているので、早急な解決を願う。

議会質問に対する回答について

基盤整備課長 議会で受けた質問には整理が終わり次第、議員例会等で返していく

議員 6月議会で土砂の堆積は維持管理によって改善している。孔園内はハザードランプを点灯した車で先導していると回答をつけた。

この様に対策等が講じられた段階で、月例

会等で回答できなかった。行政預かり案件で、既に対応がされているのがあるのではないか。

令和2年9月議会で町道のり面の取り扱い質問に対して、町長が次の議会を待たず議員例会等で返したいとの建設的な回答は、画期的な進展だった。

過去の質問で、結論案件が有れば文書回答を願いたい。町民の方に行き渡ってないと同じことで、時間を無駄にしての再質問となると感じている。

基盤整備課長 4月に着任して思った事は、各議員、区長、町民から投げかけられている要望への回答、検討事項等の多さである。そのボール1つずつを確認する作業を課のトップ事項として今行っている。ボールの整理が終わり次第、結論が出

次第、例会等で返して行く。

町長 前、言っていたあれはどうなったかみたいな催促行政では、こ

町民の声なぜ届かない

基盤整備課長 再度確認に行き、秋に実施すると伝えた

議員 新宿交差点歩道橋下の道路のガードレール土台下の崩れを心配して3回行政に届けたが放置状態との声。

町長 緊急性の高いものは議会の質疑でなく、すぐ届けて頂く。

議員 是非町民の声を聞き頂き、少しずつ改善を願いたい。

基盤整備課長 再度確認に行き、秋に実施すると伝えた。



崩れが心配な土台

池田和幸
いけだかずゆき

議員



豪雨災害に対する検証とこれからの対策について

地域振興課長 補正予算の元気復活応援金で支援を行う
基盤整備課長 事前落水や自然排水の効果的運用等を行う

議員 14日未明の佐賀県を襲った大雨は、

武雄市や大町町などで甚大な浸水被害が広範囲に発生して、法面や護岸の崩壊など全20市町の550カ所以上で確認されている。町の被害等の状況は。

総務政策課長 避難情報・住家被害は、地区の公民館等で52世帯142人の方が避難され、人的被害はなく、床上浸水が7件、床下浸水が172件、その他建物の被害合計は385件。

基盤整備課長 道路等被害は、町道で6カ所、農地が7カ所、山林が3カ所、土砂撤去が8カ所。

地域振興課長 農作物の被害は、1億1,500万円。作物別で大きい順に、大豆、水稲、アスパラ、イチゴ、花き、胡瓜、トマトで、牛舎の浸水等もある。

町民生活課長 災害廃棄物の受入は、延べ519件で、罹災証明は住宅等で33件、非住宅等で28件、消毒液配布48件。

地域振興課長 今議会補正予算の応援金で支援していく。アスパラガスは、土中のカビ菌が原因で茎枯病等が発生しやすいので、土壌改良や農薬消費などが必要である。国、県の事業メニューを使った支援も考えている。



下小田大西地区の豪雨被害

議員 我が町でも内水氾濫が起きるかもしれない。新たな軽減策が必要かと思うが。

基盤整備課長 新たな冠水被害軽減対策は、溜池の回復可能降雨量に応じた事前落水や、排水樋管を活用した自然排水の効果的運用、

排水ポンプ能力の再検討、排水機場の耐水化などが考えられる。

議員 下小田地区の豪雨災害は、大町町の高良川からの水も大き

これからの新型コロナウイルス感染対策

町長 ワクチンの接種体制を維持できるかが大事で、情報も併せて紹介していく

議員 県の発表では年代別で10代が最も多く感染しているようだが、感染防止対策は。

健康福祉課長 基本的な感染防止対策に加えて、毎朝の体温測定・健康チェック、体調不良の家族がいる場合は、家でもマスクを着用する。またワクチン接種は重症化を予防できることもあり、接種可能な方がワクチンを接種して頂くことも重要。

議員 町は12歳以上

必要因になっているのでは。対策等の連携は。副町長 県にもお願いし、大町町とも協議をしていき、解決策を探っていきたい。

町長 ワクチンの接種に接種券の配布は済んでいるが、医療機関にワクチンが不足し予約も取れない状態と聞く。30代、40代の保護者の方に親切、適切に現状報告をお願いしたい。

町長 ワクチンの接種体制を維持できるかが大事であり、町外のかかりつけ医や、県の集団接種の活用等、検討をして頂き、早く打てるよう情報も併せて紹介していく。

消防団員の「準中型免許等」取得に係る公費負担制度の創設について



ふちかみまさあき
瀬上正昭 議員

町長 導入されている自治体の事例を研究した上で、団長はじめ、幹部の皆さん方と意見交換をし、最終的な判断をしたい

議員 平成29年3月12日の道路交通法改正により、普通免許で運転できる車両総重量は、改正前は5トン未満であつたものが改正後は3・5トン未満となり、平成29年3月12日以降に免許を取得した方が消防団に入ると、車両総重量3・5トン以上の消防自動車は運転できず、活動も限定的になり、地域防災力の低下が心配される。

総務政策課長 これまでの普通免許と中型免許の中間に位置する免許として、「準中型免許」が新設された。

改正前は、普通免許で車両総重量5トン未満まで、中型免許で5トン以上11トン未満まで、大型免許で11トン



第3分団第9部(積載車) 車両総重量2,660kg

8%、11部に1名(5・6%)の計2名である。

次に、オートマチック限定免許を所有する団員数と割合は、本部に1名(4・7%、1部に1名(3・1%、4部に1名(3%、6部に1名(4・2%、9部に2名(6・1%)の

以上の自動車を運転することができたが、今回の改正により、普通免許で車両総重量3・5トン未満まで、「準中型免許」で3・5トン以上7・5トン未満まで、中型免許で7・5トン以上11トン未満まで、大型免許で11トン以上の自動車を運転することができるとい

もの。

議員 各部に配備されている車両総重量3・5トン以上の消防車の台数は。また、平成29年3月12日以降に普通免許を取得した団員とオートマチック限定免許の団員は、各部にそれぞれ何名で、何パーセントに当たるか。

総務政策課長 消防車両13台の内、車両総重量3・5トン以上は5台。

また、平成29年3月12日以降に普通免許を取得した団員数と割合は、7部に1名(4・8%、11部に1名(5・6%)の計2名である。



第1分団第3部(積載車) 車両総重量3,940kg

短期的にできることとしては、現在、交付税措置もあることから、支援制度の導入もあると思う。導入されている自治体は全国でも少なく、県内にもないが、近県では導入をされている自治体もあるの

計6名である。

議員 国は平成29年3月12日以降に免許を取得した新規加入団員が「準中型免許等」を取得する経費に対して地方公共団体が助成を行った場合に、当該助成額について特別交付税措置を講ずるとしている。

既に公費負担を行っている自治体もあり、本町も免許等取得に要する費用等の支援が必要と思うが、公費負担

制度の創設についての考えは。

町長 現状と中長期的な取組みと短期的な取組みに分けた場合、中長期的には、車両総重量が3・5トン未満の消防ポンプ自動車やオートマチックの消防自動車もあるということなので、消防自動車の更新時のタイミングでは、そうした車両の導入も考えていかなければならない。

一般会計及び特別会計歳入歳出決算審議

特別委員会において審議の結果、令和2年度決算を全員賛成で認定

一般会計決算

歳入

問 町税は、コロナ禍による影響はないのか。

町民生活課長 個人所得への影響はなく、対前年度と変わらず、税収は上がっている。

問 路線バス運行補助事業予算にコロナ交付金を使用しているが。

財政係長 例年、路線バス運行補助事業に過疎債を充当している。昨年は、コロナの影響で赤字と認められた部分に、コロナ交付金を活用している。

問 災害対策費用保険金は、申請後、いつ入金になるのか。

安全安心係長 昨年は、5つの災害分の保険申請を、年度末に一括で申請した。その保険金は、令和3年4月

に入金されている。
問 庁舎全体の改修は。

行政係長 建築から38年経過しているため、大規模な補修が必要となる。設計等の作業を今後、進めていきたいと考えている。

町長 来年度以降の予算に順次、庁舎の修繕、改修に必要な予算を計上していく。

問 交通安全指導員の委託料が減額になっているが。

安全安心係長 定員が10名に対して現在、6名で活動しているため減額となった。

問 交通安全指導員が10名必要なのか検証する必要があるのでは。

総務政策課長 活動されている方の高齢化が進んでいる。10名が必要かどうかは、現在、協議が進んでいない。
問 防犯灯を10年

以内にLEDにしていくと予定されているが。

総務政策課長 今後10年間で、1年間に60基ずつ取替えをしていく計画。

問 新型コロナウイルスのPCR検査費の補助事業で、4件補助実績があるが。

健康福祉課長 行政検査で、保健所からPCR検査を受けるようになった場合、個人負担はない。この4件は、念のため自己負担で検査をされた方への補助件数。

問 西九州新幹線の開業時期を契機としたICカード決済の導入を求めることがあるが。

地域振興課長 JRに対して長崎本線の

期成会等を通じ、要望等を継続的に行ってきた。開業には間に合わないが、引き続き要望していく。

問 小学校周辺で農地が宅地化されているが、開発の情報等は入っているのか。

地域振興課長代理 学校周辺の農地は、既に農振地域から外れている。農地転用の申請と開発行為の届出が同時期位に出してくる。実際開発に着手される概ね3カ

月前位に情報を得る。
町長 開発の協議は、極力早い段階で情報を得て、共有し、必要な対応は早めに行うように改めている。

問 プレミアム付商品券事業の事務費が交付額に対し、消化率59%となっているが。

地域振興課長 コロナ対策であったことから予算不足が生じないよう余裕をもって補助を行ったが、結果、不用額が多くなった。

令和2年度決算の認定

みんなで江北町を盛り上げよう!!

プレミアム商品券 1冊10,000円
(5,000円分のプレミアム)

お一人あたり1冊 商品券 購入可能です

販売期間 令和2年6月15日(月)～8月31日(月)
9:00～17:00平日のみ江北町商工会の窓口にて販売

使用有効期間 令和2年6月15日(月)～12月31日(木)

※商品券は取扱店にて、商品又はサービス等と引き換えるものとします。
※現金との引き換えは行いません

町の特産品の応募葉書について
応募したすべての方に町の特産品が当たります。ただし、特産品は選べません。

※代理人による応募については事前の承認が必要です。代理人の本人署名を行います。(本人署名の捺印が必要：捺印の位置など)

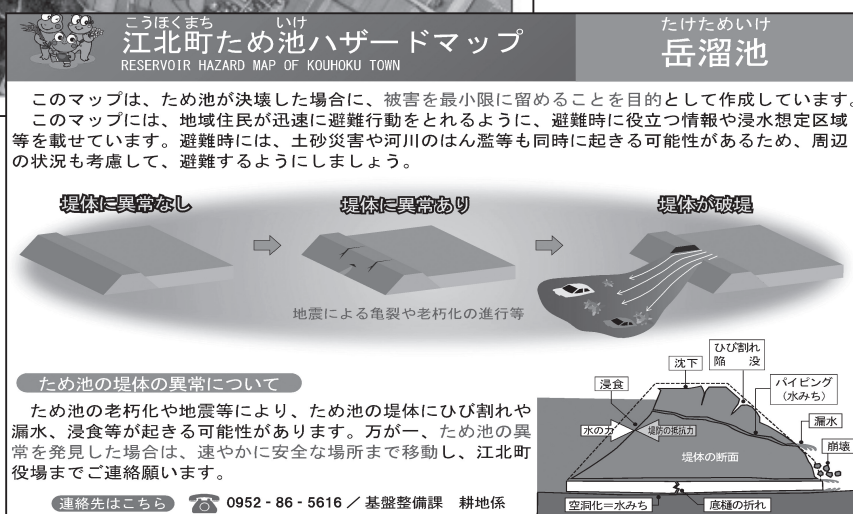
問い合わせ先
江北町商工会 TEL 86-2151

プレミアム付商品券事業

地域振興課長 商工会
との連携不足は否めない。十分な連携と

問 防災減災事業で、ハザードマップを作成しているが、配

事業で、ハザードマップを作成しているが、配



ハザードマップ (例)

布等はこの様に考えているのか。

耕地係長 紙べ
ースの印刷物を
配布、又ホーム
ページへ掲載
し、住民の方に
周知を図ってい
る。

く着用が徹底されていないのでは。

教育長 小学校は、遊ぶ時もマスクを着用し、外すときは短時間で対応している。中学校は、具体的な対策は自分自身で行うように投げかけをしている。今後不

基盤整備課長代理
建て替えを
行わない代わ
りに、修繕の

建て替えを行わない代わりに、修繕の

要望を取っている。令和元年～2年の2年間で、集中的に行い、200万円程度を要した。

高砂住宅の入居数は、現在57戸中、40戸。

禍の中、小中学校でのマスクが徹底されて
のでは。

教育長
小学校は、

遊ぶ時もマスクを着用し、外すときは短時間で対応している。中学校は、具体的な対策は自分自身で行うように投げかけをしている。今後不

問 小・中学校
のスクールカウンセ
ラー事業の成果は。
学校教育係長 家族関

のスクールカウンセラー事業の成果は。

係の問題で保護者児童からの相談を受けた。カウンセリングを継続することで親子関係の改善等の効果が発揮される事案があった。

問 小・中学校の
相談回数の実績は。
こども教育課長 小学

54件、保護者19件
中学校は、生徒162
件、保護者22件。

業は令和3年度で終

了だが、発行等、今後のスケジュールは。

町長 全世帯配布を予定している。発行は、70周年と西九州新幹線暫定開業も含めて、来年度のいず

の管理費で、調査設計委託料61万6千円と業務委託料117万7千円は。

計委託料61万6千
円と業務委託料
117万7千円は。

こども教育課長代理 調査
設計は、体育館の壁の
落下等の調査費用。
業務委託料は、プー
ル監視員の賃金。
問 海洋センター
のプール屋根の劣化

への対応は。
こども教育課長代理
劣化診断が終わった
ので、体育館とプー

問 東京2020
を基に長期的な計画
を考える。

オリンピック聖火リ

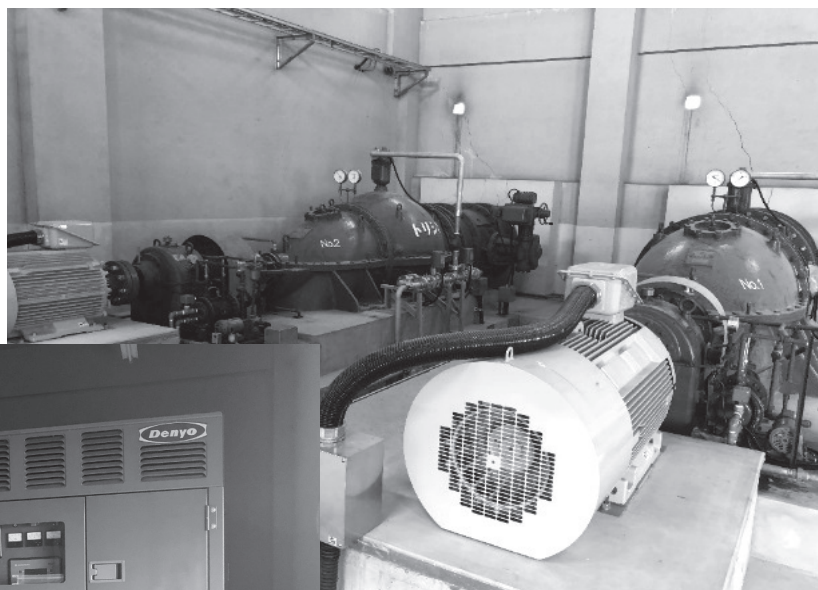
レー事業の参加者は、
国スポ推進係長 1キ
位の区間で、200
名ぐらいの来場が
あった。

特別会計決算

無資力臨鉱ポンプ

問 朽木排水機場でエンジンからモーターに変更になり、操作員の感想は。

基盤整備課長 発電機を通してモーターを回すことにより、音

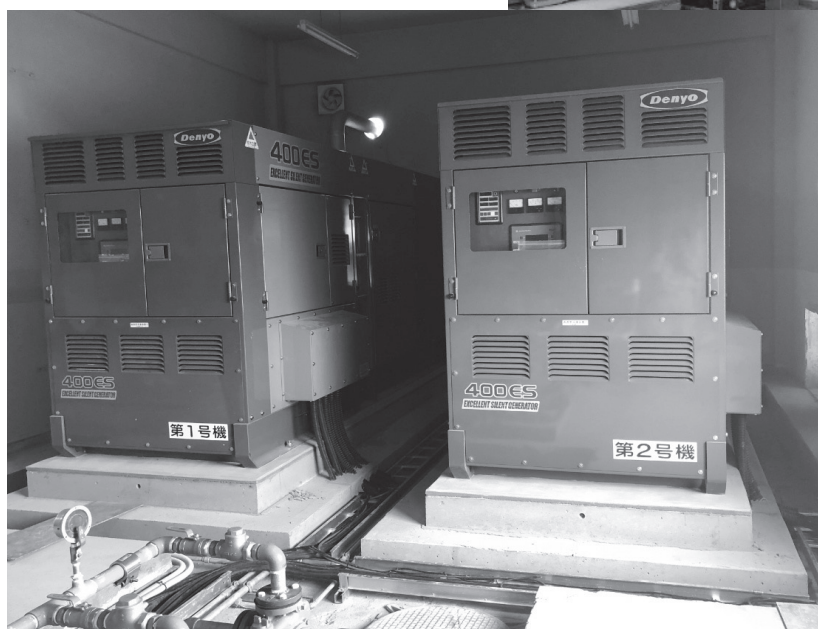


朽木排水機場 電動ポンプ・発電機

がかなり静かになり、操作も大分楽になったとのこと。

問 牛津町で、除塵機が原因で一人亡くなられているが、本町の操作盤の作業等はどうなっているのか。

基盤整備課長 1人で作業中に亡くなっ



ているので、必ず2人以上で操作をお願いしている。機場には緊急停止もあり、現場には操作盤も用意している。

問 操作員の安全管理規定はあるのか。

基盤整備課長 現在、規定やマニュアルはない。国の施設のマニュアル等を調べ、今後町でも作成する必要があると考えている。

国民健康保険

問 特定検診受診率が昨年より若干下がっているが。

保健係長 県内、全市町で受診率は下がっている状況。新型コロナウイルス感染症の拡大が一番の要因。密になりやすい状況なので、集団検診を控えるとの声があった。

後期高齢者医療

問 一般会計からの繰入金が190万円ほど減額になっているが。

健康福祉課長 一般会計から繰入れをする「保険基盤安定繰入金」一分が減額となったもの。

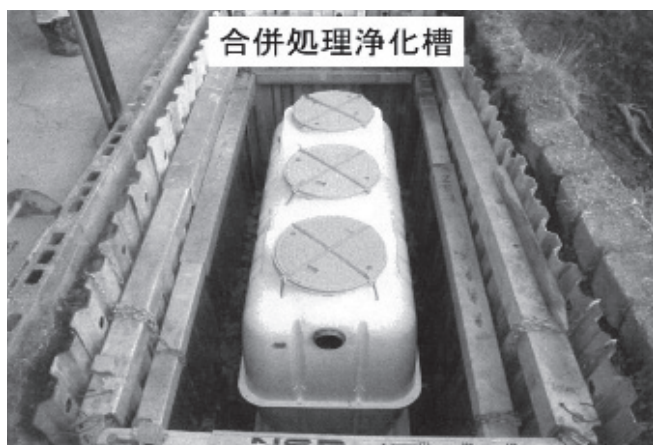
下水道事業

問 浄化槽の整備実績が4基とあるが、場所は。

下水道係長 土元区で2件。東区、西区で各1件。

問 長期債のうち公共下水事業分の年度末残額が、約42億1千万円だが、今後の償還計画は。

下水道係長 今後毎年約3億円程度を償還していく予定。元金利子は、現在の計画では、令和7年度がピークとなる。しかし、今後また借入をする可能性がある為、償還の最終年度がいつになるのか現時点では明言できない。



総務常任委員会

問 過疎地域持続的発展計画に記載のある「岩屋トンネル撤去整備」については。

財政係長 前計画から旧岩屋住宅の下のトンネルを撤去し、旧岩屋住宅の土地の有効活用について協議をしていることから記載している。



旧岩屋住宅下のトンネル

問 安全安心の観点から河川の整備について、今後、必要になった場合、追加で過疎地域持続的発展計画に盛り込むことができるのか。

総務政策課長 過疎債を活用して事業をするということになれば、計画の変更はできる。

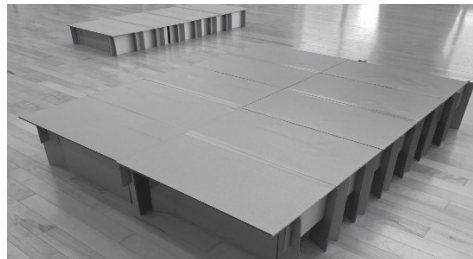
問 消防施設について建て替えの際は、利便性を考えて立地場所の検討を。

安全安心係長 更新時期が近いのは8部の格納庫。用地費を考えると現状の場所が候補地になる可能性が高いが、立地場所も含めて検討していきたい。

問 杵島工業用水道企業団関係は、過疎債の適用はできないか。

財政係長 杵島工業用水道企業団は負担金になるが、企業団の事業の考え方による。

問 避難所の段ボールベッドは使い捨てか。



ダンボールベッド



避難所設営の様子

安全安心係長 汚れがあり、また新型コロナウイルスの感染の関係もあり使い捨てとしている。

問 マットも使い捨てか。

安全安心係長 洗って干して使用している。避難者にできるだけ持参してもらうようお願いをしている。

問 災害対策費の委託料は、当初予算の3分の1程度、100万円を補正しているが、令和元年豪雨災害の実績を踏まえて当初予算の計上をしたのか。

安全安心係長 今回の台風と大雨対応で200万円程度が必要となり、今後のため補正予算を計上した。今後は実績を踏まえて当初予算を計上する。

問 予備費予算の現状は。

財政係長 以前は500万円だったが、本町の予算規模や災害が多いことから令和2年度より1,000万円に増額している。

問 抗原検査キットで陽性反応が出て、PCR検査を行った場合も補助の対象となるのか。

総務政策課長 簡易検査の結果陽性であれば、保健所にまず、相談いただく。本町の補助制度は、個人の判断でPCR検査を受ける方に対する補助、保健所判断による検査は無料の為対象外になる。

問 災害ゴミの可燃ごみと粗大ごみの搬入先は。

入先は。

町民生活課主幹 たたみや布団は裁断する必要があるが、佐賀市の清掃工場に搬入。可燃ごみ、粗大ごみ、不燃ごみは有田町へ搬入。



災害ゴミ集積場の様子

問 給食センターのA重油の使用料と燃料タンクに入る量は。

こども教育課長 年間2万2千〜2万3千ℓを使用。燃料タンクに入る量は、約1,800ℓ。

産業厚生常任委員会

問 保健センターのエアコンの交換は、寿命、耐用年数経過が原因によるものなのか。

健康福祉課長 現在、集団指導室以外のエアコンが故障している。平成15年に設置、設置から18年経過しており寿命も考えられる。

室内機、室外機があり、集団指導室の室外機以外の11台が故障している。室内機も更新の必要がある。部品の製造が中止されており、修繕対応はできないため、全て取り換えによる対応となる。

問 ふるさと納税のネット画面で上位に表示されると早く目につくので注文が行く。この上位に載せるとはどのようなものか。

商工係長 RPP広告という形でクリック数のランキングのさらに

上に掲載される。消費者が佐賀牛と検索すれば広告を掲載した市町

が上位に表示される。また、検索性の設定

の仕方次第で表示される。どういった検索をされているかを分析し、設定をし、上位に行ければと考えている。

問 駅北口トイレ改修事業について、外観はそのまま、内装を変える、という事か。



肥前山口駅北口トイレの現状



基盤整備課長代理 改修は、内外装リフォーム

の方向で、設計の中で考えていきたい。

公衆用トイレで人の利用も多い。新型コロナウイルス感染症対策や、和式から洋式トイレへの見直し、併せて外観についても検討していく方向である。

【改修の一例】
①洋式化



②センサー式水栓



③フットハンドル開閉



問 8月豪雨災害に起因する町道花祭

村内線の道路災害復旧費には多大な費用を要することが想定されるが。

土木建築係長 地滑り調査の結果、地滑りを特定、原因を説明後、災害査定を受ければ災害復旧事業として申請する予定。



道路被害状況（花祭地区）



ゴルフ場内被害状況

条例改正

一、江北町手数料条例の一部を改正する条例

（全会一致で承認）

一、江北町企業誘致条例の一部を改正する条例

（全会一致で可決）

意見書

一、コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

（全会一致で可決）

議長交際費の公表

議長が町議会を代表し、対外活動等のために支出した交際費を公表します。

議長交際費支出状況
(令和3年7月～9月支出)

項目	件数	支出額
慶弔費	1	5,000円
合計	1	5,000円

前号のお詫びと訂正

議会だよりNo.159の編集後記に、シラサギの被害状況のことを記載しました。

記事の中、「住み家としてのシラサギはロケット花火等で追い払うことができたが、樹木は哀れな姿に変貌しました」という内容に対して、説明が不足していました。

訂正分は、「地元近隣の方々により、日中はもとより、夜中を問わず追い払いをして頂いたお蔭により、追い払うことができました」と追加をお願いしたいと思います。

今後は、このようなことがないように努めたいと思います。大変申し訳ございませんでした。

〔文責／池田〕

移り行く季節を感じて!

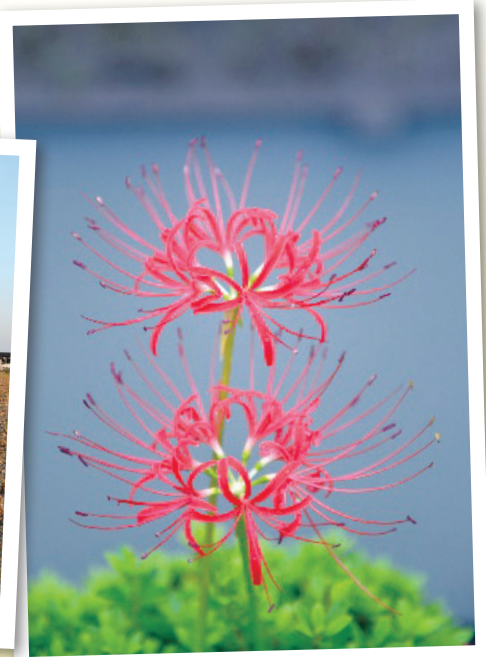
今年は例年より早い梅雨明けで、秋の訪れが早いのかと思いきや、8月の豪雨で多くの方々が被災されました。更に9月の台風14号で収穫前の水稲の倒伏等の被害。心よりお見舞い申し上げます。

宮沢賢治の「雨ニモマケズ」の詩の如く耐えた8月、9月でした。

このような中、季節は留まることなく歩を早めています。佐賀の秋の風物詩であった稲こ積みに代る、圧縮された稲藁のロールが道路沿に積み、季節の花々も秋の装いを深めています。

元号が変わった3年間は天災に要注意との言葉を耳にしたことがあります。

来年以降の豪雨・台風等自然災害が減少することを念じる次第です。



編集後記

長引いたコロナ問題に引き続き、8月の豪雨に多くの方が頭を痛められた事と思います。被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。災害に対し、私たち議員の力ではどうする事も出来ないとは言え、市民の皆様が安心して生活出来る事を願い、環境問題に力を注いでいかななくてはと心新たにしています。

多くの方のご意見をお聞きし、議論を交わし、誰もが住んでいて良かったと思える町づくりを目指し提言を続けていきたいと思っています。

(三宅)

議会広報委員会

委員長 池田 和幸

副委員長 三苫 紀美子

金丸 祐樹

江頭 義彦

石津 圭太